

地域住民の買い物を支援

「ただみ ほほえみ便」 出発式

移動販売車「ただみ ほほえみ便」の出発式が11日、明和振興センターで行われ、渡部町長や社会福祉協議会の佐藤会長ら関係者が参加したほか、地域住民の方も駆けつけました。

移動販売車を運用するうおかくの角田玲さんは「買い物弱者となっている方々の支援をはじめ、地域へ笑顔をお届けたいです」とあいさつをされました。

「ただみ ほほえみ便」は移動販売をしながら、高齢者世帯等の見守り支援も兼ねています。また、運行スケジュールについては、明和振興センターに配置されている他、社会福祉協議会ホームページに掲載されています。



▲集まった方々も笑顔で買い物をされました。

お米作りを学ぶ

町内小学校で「田植え体験」



▲只見小学校5、6年生（5月14日）

町内3小学校で農家の方の水田を借りて「田植え体験」が行われました。（只見小：新国真也さん、明和小：松井栄吉さん、朝日小：藁谷友活さん）

児童達は、農家の皆さんから手植えの仕方を教わり一生懸命に植えました。「少しひんやりとしていて気持ちよかった。意外と楽しかった」、「一つの田んぼから取れるお米の量に驚いた」と楽しそうに話しました。

農家の方は「一生懸命植えた苗が育っていく様子を見守ってあげてください」と伝えました。

秋には、稲刈り体験を行う予定です。



▲朝日小学校5年生（5月28日）



▲明和小学校5年生（5月20日）

JR只見線復旧・復興のために ご寄附いただきました

只見町下福井出身で「お菓子の城 那須ハートランド」を運営している片桐俊輔さんより只見町へ金100万円のご寄附をいただきました。

片桐さんは「故郷、只見町がJR只見線全線開通により益々発展されることを願っています」とお話しされました。

いただいたご寄附は有効に活用させていただきます。本当にありがとうございました。

○片桐俊輔さん（株式会社いづみや 代表取締役）

只見町出身／栃木県那須町在住。

平成元年に「お菓子の城 那須ハートランド」をオープンし、現在はいちご農園や温泉施設なども経営。



▲片桐さん(左)と寄附を受け取る渡部町長(右)

グルテンフリー、米消費拡大で注目

給食に米粉の Pasta、ナンを提供



▲米粉給食を楽しむ児童達

町内小中学校の給食に米粉の Pasta とナンが提供されました。新国農園産のコシヒカリを自家で製粉し Pasta は自社加工、ナンは三石屋でパン生地 に米粉を練り込んでもらったものです。

近年、米粉は水田の有効活用や食糧自給率の向上の他、小麦アレルギーの方でも安心して食べることのできる食材としても注目されています。

児童からは「普通のナンよりもおいしい」「Pasta がモチモチしている」といった声があがり、いつもと違う給食を楽しんでいるようでした。

河井継之助グッズで来町者をお出迎え

ステッカー、のぼり旗、ハッピーを作成

只見町が河井継之助とゆかりの深い町ということ を PR するために町で河井継之助のステッカー、のぼり旗、ハッピーを作成しました。

のぼり旗は町内国道沿いなどに設置し、訪問された皆様を出迎えます。ステッカーは河井継之助記念館や町内の商店を訪れた人にプレゼントされています。

ステッカーを受け取った方は「ファンにとって嬉しい取組みです。これをキッカケに河井継之助の名前がもっと広がると嬉しいです」と感想を話されました。



▲ハッピーを着て訪問された皆様をお出迎えます。
(只見町観光まちづくり協会スタッフ)